

## 感想

今回の講義では、新聞は色々な場面を予想して記事を用意していることを知りました。テレビなどで号外を配っているシーンを見たことがあります。裏では現場までニュースを聞きに行く人がいて、それを受け取って記事にする過程が大変だと感じました。また、昔はネットが発展していない時代だったので、より大変だったと感じます。

新聞を書くときのコツだったり、気をつけることだったり貴重なお話をたくさん聞いてとてもよかったです。新聞記者は未知の世界なので知らないことのお話がたくさん出てきてびっくりしました。新聞を書くときに5w1hを気をつけているということで、今後読むときに5w1hを探してみたいなと思いました。今回2回にわたってお話していただけて本当によかったです。ありがとうございました。

新聞の見出しを自分で考えてみるのはとても面白いと思ったけど、とても難しかったです。そう考えると新聞社の人達は読みたくなったり興味が出てくるような見出しを考えているのでとても関心を持ちました。三好先生は自分の仕事に誇りも持っていらっしゃるだったのでとても尊敬しました。私も自分の仕事に誇りを持てるような人間になりたいです。

大震災など色んなこと取材をしてきた三好先生の話聞いて大変な仕事なんだなと思いました。神戸新聞はうちの家も取っていてよく目にします。神戸新聞本社には映画を見に行ったりとよく行っているので今回なかなか聞けないお話を聞いてとても貴重な時間を頂いたなど思っております。これからも神戸新聞を見ていこうと思いました。

普段の生活でなかなか聞くことのできない経験談であったり、情報を聞くことができ、とても聞いていて楽しかったです。なかなかない経験を、させていただきとても嬉しかったです。阪神淡路大震災のお話はとても印象に残っています。これから、大きい震災などもありうる話などでとても身近に感じました。

ためになるお話をありがとうございました。普段では聞けない新聞記者のお話はとても面白かったです。今回の話で一番驚いたのは、新婚旅行を止めてなおスクープを狙いに行ったことです。記者の人達はそれほどにスクープを狙っている気持ちがある、記者魂に驚かされました。また、何気なく見ている見出しですが、読者を飽きさせない工夫がされていることが面白いなと思いました。またぜひ話しを聞きたいです。ありがとうございました。

三好さんのお話を聞いて特に印象に残ったのは、新聞の文字を一字間違っただけで、自分の意図に反した内容で捉えられてしまうということが分かりました。また、災害時などは特にそういった誤字などに注意し、誤情報を流さないようにしなければならぬと思いました。

今回は、お忙しい中貴重なお話をありがとうございました！

三好先生へ

新聞記者とはやはり、嫌なイメージがまだあります。人が落ち込んでいたり、反省していたり、とても話したくないような雰囲気でも何を思っているかをインタビューします。しかし、いい面も多くこの講義のおかげで見れたかなと思っています。

講演内容で、印象に残ったのは前回の授業で言っていた、有名人に会いたってことです。それだけの理由で新聞記者をできるのも驚きだが、新聞記者の考え方だったりを詳しく知ることができて良かった。あまりいい印象が新聞記者には無かったので考えた方が少し変わりました

講演内容で印象に残ったことや学んだことは、どういうことを意識して新聞の記事を書いているのかについてです。新規性、人間性、社会性、地域性、記録性、国際性を意識して書いていることを知り、一つや二つではなく、いくつも意識していることがあるのだと驚き、とても印象に残りました。

今回の講義を聞いて、とても将来の役に立つ内容だったと思いました。将来、自分が何をしたいかはまだ決まっていなくても、いろんな趣味を見つけたりして、いろんな人と交流していきたいなと思いました。今回はいいお話をありがとうございました。今後も頑張ります。

三好先生へ。貴重な講演をありがとうございました。現場のお話は興味深く、大変学びになりました。記事を書くときの工夫で、マンネリ表現を避けたり、10数行程度で改行する、など何気なく読んでいる新聞にも読みやすいようにそんな工夫が施されているのは知りませんでした。ありがとうございました。

三好先生の講演を聞いて、新聞記者についての仕事が今まで以上によく理解できました。どんな時でも、カメラを向けたり、話を聞いたりして記事の内容を正しく間違いのないようにしているのはすごいことだなと思いました。毎日、記事の内容を集めて新聞を発行して、すごく大変だなと思いました。

今回の講演を聞き、新聞記者という仕事は様々なところに取材しに行ける面白い職業だと思いました。もちろん、新聞を書く作業や間違っていたら書き直さなければならないというところもあります。それでも色々な場所に取材に行けるということは仕事をする度に違う景色を見に行けるという点が面白そうな職業だと思いました。本日はありがとうございました。

今回の第14回講義を聞いて新規性、人間性、社会性、地域性、記録性、国際性を意識してニュースを書いているという事を学びました。講演を聞いて、記者として一番大切にしている事は信頼出来る情報を届け、人命と人権を守ることが印象に残りました。

三好先生、忙しい中、流通科学大学の「新聞を読む」の授業で講演をして下さりありがとうございました。三好先生の講演で阪神・淡路大震災の被害や今まで記者として歩んできた話を聞いて印象に残りました。この度は本当にありがとうございました。

公演の内容で印象に残ったことは、阪神・淡路大震災の時の新聞記者さんがフェイクニュースなどが出たりしている時に、新聞は確かな情報を読む人に伝えなければいけないという責任感があり、新聞を作り上げるまでの時間も、急がなきゃいけないけど確かな情報を伝えなければいけないのは大変だと思い、印象に残りました。ありがとうございました。

私は今日の授業で、神戸新聞記者の三好先生のお話を聞いて興味・関心、心に残ったことがあります。私の新聞記者の普段のイメージは常に忙しくて、メモなどを取っているイメージがありました。ですが、三好さんが言っておられたのは常に歩き回っていることを初めて知りました。私は今日のお話を聞いて記者に対して、魅力を感じたので記者を見かけた際はよく観察してみようとおもいました。

三好先生へとてもためになる話ありがとうございました。

印象に残っていることは神戸新聞の作り方などです。朝には新聞が届いている理由を知ることができました。そして一人一人に役割があって誰かが欠けてしまったらできないということもわかりました。自分も協力したりする力をつたいと思いました。

神戸新聞が私たちの手に届くまでの過程について知ることができ、その映像がとても印象に残りました。色々な情報を各地で得て、その情報の中で厳選したものが神戸新聞に載るということがわかりました。記事を書くときに気をつけたり、工夫していることは、正確さや豊かさということがわかりました。インタビュー写真を撮るときは、インタビューされている人の後ろに実際に作っている人を映すなど、関連あるものを背景に写し込んだり、持たせるということがわかりました。新聞の特長として、一覧性とおっしゃっていて、確かに見出しなどを一目見るだけで昨日の出来事などがわかるので一覧性が特長だなと感じました。神戸新聞について気になっていたことが聞けたり、記事を書くときに気をつけていることや新聞を作る時の注意点を聞いたので良かったです。三好先生が言っていたことを意識して神戸新聞を読んでいきたいと思いました。

新聞を作るしんどさや大変さを講義を聞いて改めて実感しました。新聞が無ければ世の中のことを理解できないのでとても重要なものだわかりました。また、僕たちの質問の内容にほとんど答えてくださっていたのでとても嬉しかったし勉強になりました。2時間ありがとうございました。

今回2回に渡って元記者の三好先生の公演を聞かせていただいて、記事に載せる写真の撮り方で適当に撮るんじゃなく、明るくしてとったり三角形を意識して撮るといい感じに撮れるということ学びました。僕も写真を撮ることが好きなのでぜひこれから写真を撮る時は意識して撮りたいと思います。

2回にかけての講義ありがとうございました。

私は特に写真の撮り方で印象が変わるところが印象に残りました。私はこれを聞いて、新聞とはもしかしたらSNSの原初の形なのではないかと思いました。

また、締め切り3分前であっても記事を変えることができるという話も印象に残りました。やはり人間の知恵は凄まじいものだと思います。

新聞を作るにはたくさんの人の手でできていることを知り感動しました。

取材の話聞き新聞について興味を持ちました

新聞についてたくさんのお話を聞くことができありがとうございました

まず、来てくださりありがとうございました。普段聞けないようなお話を聞くことができ非常に楽しかったです。

一つ目に印象に残った内容としては、新聞ができるまでにたくさんの手間がかかっていることを知れたことです。新聞ができるには多くの方が助け合っていてくださっているのだと知れました。毎朝、朝早くから市民のために新聞を出してくださる新聞社さんには、感謝の気持ちしかありません。

二つ目に印象に残った点は、写真の撮り方によって見方が変わると言うことです。手に動きをつけることによって喋っているような見方になるのは素晴らしいと思いました。

最後になりますが、お忙しい中来てくださり本当にありがとうございました。新聞社の秘密を沢山知れました。

今日覚えて知識を少しでも脳に置いていきたいと思います。本当にありがとうございました！！

本日はお忙しい中お話しいただきありがとうございました。

普段新聞を読むことがなかったのですが、記者の方の仕事内容や大変なこと、記事の調べ方や三好先生から新聞を読んだり作る上で大切なことなどを教えていただきありがとうございました。

これから新聞を読む機会を作ろうと思いました

今日は貴重な時間をいただきありがとうございました。

新聞の取材はとても大変なものだと感じました。

構成などもしっかり考えられていて読者に見やすいように考えられているんだなと思いました。

普段何気なく見ている新聞にはいろんな人の手が加わって作られているということがよく分かって、改めて凄いなと思いました。新しい情報が入ってきてそれを記事にするということは時間との戦いだと思うのに、ミスなく正確な情報をいつも掲載しているのは本当に凄いなと改めて思いました。

三好先生、二日に渡って講義をして下さりありがとうございました。新聞が出来上がるまでの仕組みについてよくわかりました。私の家は父が新聞を読むので毎日新聞を目にはしていますが、実際読むということはありませんので、これを機に新聞を少しずつでも読んでみようと思いました。

記者は結構大変なんだなと思いました。

テレビやSNSで記者にいいイメージがなかったけど記者は記者で大変なんだなと思いました。

仕事内容がとても忙しそうだし常に何かかんがえてそうだなとおもいました。

お忙しい中、貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。

三好先生の講義を聞き、新聞がどのようにしてつくられているか、記者の方はどこに行きどのような視点でインタビューなどを行っているのか、など様々なことを知ることができました。普段は全く読まないのですが、講義を聞き、そのようなことを知った上で1度神戸新聞を読んでみようかなと思いました。

改めて、前回と本日はありがとうございました。

私たちの素直な疑問に答えて頂きありがとうございました。

新聞や新聞記者という仕事について詳しくなれました

ありがとうございました。

この貴重な経験を活かしていきたいと思います。

新聞一つ一つにたくさんの人が携わっているのを改めて認識できて良かったです。写真の撮り方の大事さを学ぶことができました。ありがとうございました。

忙しい中講義をしにきてくださってとてもありがたかったです、新聞記者の普段見えない仕事などが知れて楽しかったです特にツチノコの話でめんどくさい人もいるんだなと思いました、2度も来ていただきありがとうございました！

・三好先生の時代は記者が一人しかいなかったというお話を聞いて1日10本記事を書くなど凄い労働量で苦労されたんだなと思いました。

・今まで新聞についての知識がほぼなかったけど新婚旅行をキャンセルして記事を書いたり地震が起きたあとすぐ写真を撮り記事を書くなど記者の方達はどんな時でも新聞を書くことを第1優先で生活されていることを知り、新聞はそうやって出来た物だと考えるとこれから読んでみようと思いました。

・新聞を書く上で気をつける5w1hだったり写真の撮り方などこれからレポートを書く上でも使えるような物を学べたので凄くためになりました。

①阪神淡路大震災の時のお話が1番印象的でした。淡々とお話しされていましたが、自分自身も被災しながら情報をいち早く届ける為に動かれていて、仕事に対する熱意を感じました。

②文章を作るプロの方から、文章の作り方のコツや新聞の読み方を直接聞くことができとてもタメになりました。今後の学生生活、また社会に出てからも活かそうです。

③新聞の書き方として逆三角形とありましたが、そう書くと急なニュースが入って来た時に、後ろの文を消して新しくニュースを入れることが出来るとおっしゃっていて、なるほどと思いました。簡潔に書く理由は読みやすいだけではないんだなと驚きました。

神戸新聞記者が何をやっているかなど、一般の人が知ることができないことを知ることができてすごくいい時間でした。

神戸新聞記者になりたいなと思いました。

三好先生が経験したことをいろいろ聞くことができ楽しい時間でした。

新聞記者の大変さが分かりました。

自分が新聞記者だったらやめるかもしれないと思いました。

有名人と会っていてすごいなと思いました。

2回にわたって講義ありがとうございました。

改めて新聞とは何かを考えました。ニュースとは何かで、記録性や地域性など、新聞を読んでいると確かにこれに関連した記事があるなと感じました。記事の書き方で、マンネリ表現を避けたり、ディテールを書いていることがすごいと思いました。見出しを考える時間の時、自分もわかりやすく考えましたが、記者の方が考える見出しを方がわかりやすく、記事の内容がすぐわかる見出しで、すごいと思いました。

・今まで新聞を見ることはあっても作成されるまでの過程を考えたことはなく講義を受けていく中で出た多くの疑問に丁寧に答えてくださり、ありがとうございました。

・新聞には文字が多く、文章に目がいきがちですが写真の撮り方でも角度など工夫がされていることに驚いた。

・SNSやニュースで十分だと思っていたけど記事の正確さなどの良い面を知ることによって必要なものだと思った

今回はお話ありがとうございました。新聞記者の仕事内容がわかり、自分たちの元へどうやって情報が入っているのかや、読者に興味を引くような工夫がたくさんされていることがわかりました。貴重なお時間をありがとうございました。

新聞記者の方は災害にあった地域や事件があった現場など過酷な状況の現場にいつまで取材をしなければならないという話があって精神的にも肉体的にも疲れる仕事なんだなと思いました。

実際に記事を作る上で、あの新聞一枚にどれだけ文をまとめてかつ、信憑性を得られるものを作るのに、それほど締め切りまでの期限がないのに驚きました。

新聞記者という仕事は過酷な現場に行くこともあると思いますが

それと同時に色々な場所に赴いて取材をすることで色々な体験ができたり、普段なら行けない場所へいけたりするところがいいところだなと自分の中では思いました。

授業内容もすごくわかりやすかったです。貴重なお話ありがとうございました。

講義していただきありがとうございました。

新聞制作の裏側を聞いて時間いっぱい考えて記事を作っているんだなと思いました。新聞を作っている機械もすごいなと思いました。1トンの紙であったり、連続で記事を刷っていくスピードがあるから次の朝には届くんだなと思いました。記事の見出しであったり、内容であったりその日の出来事を翌日の新聞には記載されているところは本当に頭をフル回転させ、知恵を出して文章を構成されているのでこの話を聞いて本当のプロなんだなと思い、私自身も知恵であったり文章構成の力をつけたいなと思いました。事件現場に行って取材をするという話がありましたが、殺害事件や発泡事件など悲惨な出来事も記事にしないといけないところも話を聞いていてとても大変そうだなと感じました。新聞の裏側の話を聞いて私の思っていたイメージとはかなり違うなと感じました。汗水流して新聞を作ってくださっていることに感謝だなと感じました。

普段は聞けないお話を聞く事ができて良かったです。新聞を普段はあまり読まないけど新聞を作るのはとても大変なんだと思いました。

私は、以前まで新聞は文字が多く読みにくいし効率の悪い情報の配信の仕方だと考えていました。しかし、別の視点で見ると、その膨大な情報を朝刊、夕刊の1日2回まとめ、そして毎日発行し続けている事は非常に大変な業務であることに気がつくことができました。三好先生ありがとうございました。

神戸新聞の人の話を聞けることがないから貴重な体験をさせてもらって話を聞いていい経験になったからよかった。話を聞いていて震災の時はとても忙しかったというのがわかる。インターネットが普及していなかったから歩いて西宮まで行った話を聞いて改めてとても大変なんだな—と思った。新聞を書くにあたって新規制や基本性など色々なことを意識して書いていたから自分には難しすぎて書けないしその新聞を34ページぐらいある量を書いていることがすごいと思った。記者に向いている人など聞いてよかった。簡潔でわかりやすい文章要約する力など様々なことが記者に求められるから記者になった人はそういうことができるから尊敬しかない。直接現場に行きインタビューを聞いたりなかなか忙しんだなと思う。なかなか話を聞かせていただいていたいい経験になりました。暑い中お越しいただいてありがとうございました。

僕たちの質問に対して詳しく説明してくれたし、記者の人の書き方のこだわりを教えてくれたので、とても勉強になりました。また、期限が数分後なのに、急遽書き換えることもあることも知れたしそういう時の対処法も教えてもらったので、色々勉強させて貰えたので自分的に得るものが沢山あって良かったです。

ほんとうにためになりました。  
新聞記者はたいへんなしごとだと感じました。  
いつもありがとうございます。

自分は新聞について全く知識がなく、三好先生の講義を受けたのですが新聞のありとあらゆる知識をお教え頂きとても感謝しております。この度はありがとうございました。

三好先生へ

この度は貴重な講義ありがとうございました。

新聞社さんのお話を直接伺えるのはなかなかない機会なのでとても良い体験になりました。新聞記事は全く読んでいませんでしたが、ウェブ上に上がっているのでも読み始めてみようと思いました。ありがとうございました。

講義をしていただきありがとうございました。

記者をしていく上での話を聞いてびっくりすることばかりで、特に第1回目におっしゃっていた芸能人に会えると聞いて羨ましいなと思いました。ありがとうございました。

三好先生へ

貴重なお時間ありがとうございました。

神戸新聞の魅力や新聞についてよくしてれいい機会でした。

また家でも新聞を読んでみようと思います。

本日はありがとうございました。

貴重なお話ありがとうございました。

授業の中では実際ある新聞の記事を要約することが多くあり、短くするだけでもとても時間がかかるのに新聞社の人達は、限られた時間の中で1から作っているのが160円で神戸新聞を帰るのが安く感じました。これからも神戸新聞を読んで行きたいです。

神戸新聞の仕事についてよく知ることが出来ました。新聞記者だからわかる苦労や楽しいことを沢山知ることが出来てよかったです。ありがとうございました。

前期の授業ありがとうございました。もともと新聞を読むことが嫌いだったけど少しはあの多い字を読めるようになりました。ありがとうございました。新聞記者はとても忙しいけれどやりがいがある仕事なのかなと思いました。

三好さんの話を聞いて思ったのは記者と言う仕事に誇りを持っている感じがしてとてもかっこいいなと思った。自分もそういった仕事を、できるようにこれから頑張っていきたい

三好先生貴重な話ありがとうございました。先生の演説の仕方が聞きやすかったです。見出しやタイトルの話のところで問題形式にしてあてそれを考えてもらうそういった学生もちゃんと授業に参加しやすくするシステムなど楽しかったです。

今回は2回に渡り新聞の作り方や質問に答えていただきありがとうございました。

普段は聞くことのできない新聞記者の仕事について細かく知ることができとても有意義な時間だったと思います。

特に阪神・淡路大震災の時のお話や珍しい出張の話などはとても興味深く、時間があっという間に感じました。

改めて今回はありがとうございました。



新聞記者さんのお話を聞いたのは初めてだったので、現場に行った話など詳しく聞けてすごく勉強になりました。

新聞は難しいと思われているし、私も実際思っていますが、編集部の方達は見やすいレイアウトを考えて作ってくださっているのを知って、読まないといけないなと思いました。

今回は貴重なお話をありがとうございました。

新聞に写真も載せる時にご飯なら角度などをこだわってみる人になるべく美味しく見せれるように明るさなどにもこだわっている事を知って、見せ方に工夫することはとても大切だと思いました。

普段生活していて聞けないような新聞記者の人の話が聞けてとても参考になりました。特に大事なことは最初を書くという逆三角形の話は今後文章を書く時に使えるので参考にしようと思いました。今回は貴重なお時間を頂きありがとうございました。

2回の講義ありがとうございました！

私は実家暮らしなんですが、1回も新聞をとったことがなく、新聞の良さをあまり知らなかったんですけど、今回の講義を聞いて、新聞記者の大変さや、新聞がどんな影響を及ぼしているのか知ることが出来てとてもためになりました！

すごく面白い講義でした！ありがとうございました！

2コマにわたる講義をありがとうございました。

私はあまり新聞を読まないのですが正直初めのうちは硬い話なのかなと思っていましたが、実際に講義を聞いてみるととても面白い話ばかりで楽しかったです。特に、新聞ができるまでの話ではたくさんの人が関わっていることが知れました。

新聞を作る過程や、新聞についての質問に答えてくださりありがとうございます。今回の講義を通じて新聞についてだけでなく、色々な事件や出来事を知ることができました。ありがとうございました。

自分が質問したもの以外にも気になっていた記事についての部分も知れて良かったです。今までは新聞の価値を低く見ていましたが、今回の講義を受けて、見てみようと思いました。

今回はありがとうございました。

新聞記事について聞いて一番印象に残ったのはインタビュー写真の撮り方です。理由は、テーマに沿っていろいろ入れながら撮ったり、たくさんの角度から撮ったりといろいろな状況での取り方を知ることができたからです。

三好先生、約3時間ありがとうございました。

三好先生へ

本日はお忙しい中新聞について教えて頂きありがとうございました。自分は新聞をあまり読んでいなくて講義を聞いてとても大変さを改めてしりました。講義を聞き新聞を読んで世の中の知識を増やしたいと思いました。

三好先生ありがとうございました。

私は新聞記者や報道系の人には感謝しつつも行き過ぎた尾行に近いほど引っ付いてカメラを向ける人がいるのも事実で、私はそこに疑問を抱いています。普通に考えたら盗撮にはならないのでしょうか？有名人の熱愛報道などもそうで、プライベートが無い！と聞きますが本当にその通りだと思います。有名人でも普通の人間です。テレビに出ている時や撮影の時以外でもずっとと思っていいほどどこかでカメラを向けられていると思うとしたいこともできないと思います。そういう所には人間として疑うものがあります。ですが、そういうことをしている人がいるから今の世界があり色々なところから悪事もそれで知ることもあるし、そういう行為が絶対に最低とは言えないのも事実なのかもしれません。そういう報道記事などを書いたことや記者として活動していた時にそういうこともしたことがあるのかも気になります。

2/私が思ったのはプライベートであっても事件やビッグニュースを聞いたらすぐに現場に向かうことにびっくりしました。その中で犯罪現場にいる向かった時に1人で向かうとやっぱり怖いと聞き、2人で行くことが多いと聞きました。そこでやっぱり1人だとその現場に怖い人がいて危険な場所に行くのはすごいと思いました。私たちはテレビなどで見ているだけですが、その危険な場所について撮影やリポートをすることに仕事に対する熱意や責任感がしっかりしていてすごいと思いました。

3/友達の家に行った時にちょうど西区の事件があった時で、その近くが友達の家なので街をカメラやマイクなどを持った大人たちが5人グループくらいで近所の家を回って情報を聞き回っていました。私はそこで思ったのは勝手に初めからカメラを向けるのはどうなのかと思いました。場面を初めから見ていましたがカメラを向けてもいいかという様な承諾は取っていませんでした。それはいいのか？、と思いました。

ですが根気のいる作業をずっと一日しているのはすごいと感じました。事故で犯人が逮捕された後も1週間くらいはずっと家の前で張り込みをしていたと友達から聞きました。それはそれで周りの人に迷惑になったり、カメラに映るのが嫌で道を変えて家まで帰っていたと聞きました。やっぱり報道系の人からすれば一応といった形やまだ何かあるかもしれないと感じ仕事をするのかもしれませんが、近隣住民からすると正直迷惑だと思います。もう少し考えて動くべきだとも感じました。

三好先生この度は長年に渡る経験から一般人が知ることのできない貴重な経験談、秘話などを教えてくださり本当にありがとうございました。